

株式会社大川印刷
代表取締役社長
大川哲郎様



横浜の老舗企業から学ぶ 中小企業のSDGS と広げる仕組み。

2/18

13:30 ~ 16:30

岡山市勤労者福祉センター 4階会議室
(参加費：無料)

地域に
愛される
中小企業
のための
SDGS 勉強会



地方創生など逆説的には地域の持続について人口減少、少子高齢化など、様々な面での危機が啓発される現在。地域の生活と経済を支える中小企業が地域に存在し続けるためにどのような取り組みが大切なのか？また、そうした中小企業の取り組みを守り育てるためにはどのような仕組みが地域に必要なのか。本勉強会では、その点について先進地であります横浜の企業様による実践との2面で事例から学びます。

まず、企業の事例として明治14年に横浜で創業され、137年の歴史を持つ株式会社大川印刷は、印刷業界における様々な環境課題に率先して取り組み、従業員にとっても働きやすい環境づくりや、様々な地域貢献の取り組みを進めてきています。その取り組みは自社に留まらず、「横浜型地域貢献企業認定制度」の創設や、全日本印刷工業組合連合会（全印工連）において、日本初の業界団体によるCSR認定制度の創設などを働きかけられてきました。あわせてご紹介いただく平成19年に横浜で創設された「横浜型地域貢献企業認定制度」は、地域の企業のコミュニティ参画を促す先駆的な取り組みとして、岡山市でもぜひ学びたいしくみ。地域を意識した経営を行い、本業及び

その他の活動を通じて地域貢献（CSR）活動に取り組んでいる企業を市が認定し、この認定を受けると、同市や同制度を運営する財団から広報支援や低利の融資を受けることができるとともに、公共工事の入札時の優遇も受けられるという、名実ともに実のある制度です。

この仕組みや施策の発案に大きな役割を果たしたのが、当時の横浜青年会議所がまとめたマニフェストであり、その制度化を働きかけた方々が設立した「横浜スタンダード推進協議会」による研究と提案でした。行政ではなく、民間による発意が、どうやって地域全体のしくみになったのか。「横浜スタンダード推進協議会」の中核メンバーである大川哲郎様に、自社や業界を巻き込んだ取組や「横浜型地域貢献企業認定制度」の提案までの経緯等をうかがい、岡山市でのしくみづくりにどうつなげていくかを議論することを目的として本勉強会を開催いたします。

またあわせて、昨年度全国の自治体を対象に、一般財団法人CSOネットワークが実施した、公共調達における、企業の地域貢献や社会的責任（CSR）への配慮に関する調査の結果について、報告いただきます。

プログラム

- 趣旨説明 13:30 ~ 13:40
NPO 法人 岡山 NPO センター 代表理事 石原達也
- 基調講演 13:40 ~ 14:40
「大川印刷の地域貢献の取り組みと、
横浜型地域貢献企業認定制度の提案（仮題）」
株式会社 大川印刷 代表取締役社長 大川哲郎 様
- グループでの感想共有・質疑応答 14:10 ~ 14:30
- 休憩 14:40 ~ 14:50
- 公共調達に関する調査報告 14:50 ~ 15:10
「公共調達を通じた持続可能な地域づくり：持続可能な公共調達
全国自治体調査結果から」
一般財団法人 CSO ネットワーク
事務局次長・理事 長谷川雅子 様

- パネルディスカッション 15:10 ~ 16:00
「横浜型地域貢献企業認定制度から学ぶべきポイントと
公共調達」
コーディネーター：IIHOE 代表 川北秀人 様
パネリスト：
株式会社 大川印刷 代表取締役社長 大川哲郎 様
一般財団法人 CSO ネットワーク
リサーチ・フェロー 高木晶弘 様
- ワークショップ 16:00 ~ 16:30
「岡山市で今日の話はどう活かすか」
NPO 法人 岡山 NPO センター 代表理事 石原達也

主催 NPO 法人岡山 NPO センター
CSR 報告書を読む会
共催 SDGs ネットワークおかもや

社会的責任向上のための NPO/NGO ネットワーク（NN ネット）
一般財団法人 CSO ネットワーク
IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]